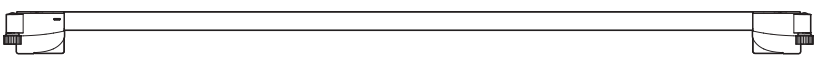
I-O DATA

てれたっち

プロジェクター用 外付けタッチモジュール
DA-TOUCH-P シリーズ



レシートや納品書を保管してください
修理の際に、ご購入日を証明するために必要です。

本書をよく読んでお使いください。
また、本書をいつでも読めるように、本製品の近くに保管してください。

MANU000299

もくじ

製品概要 3
- 使用目的 3
- 添付品 3
- 動作環境 3
- 仕様 4

各部の名称・機能 5
- 前面 5
- 天面 5

設置する 6
- 本製品にチェーンバックルを取り付ける 6
- 本製品をホワイトボードに固定する 7
- 本製品を壁に固定する 10
- プロジェクターの映像を調整する 14
- キャリブレーションソフトウェアをインストールする（初回だけ必要です） 15

使う 21

「白板ソフトプロ for てれたっち」 22
- 「白板ソフトプロ for てれたっち」とは 22
- ダウンロード方法 23
- 使い方 24
- お問い合わせ先 25

困ったときには 26

安全にお使いいただくために 28
- 記号の説明 28
- 設置前の注意 29
- 設置時の注意 30
- 使用時の注意 31

アフターサービス 32
- お問い合わせ 33
- 修理 34
- ハードウェア保証規定 35

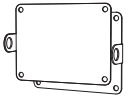
製品概要

使用目的

本製品は、プロジェクター用タッチデバイスです。
本製品をホワイトボードや壁に固定し、プロジェクターが投影する映像とあわせて、タッチパネルのようにお使いいただけます。

添付品

- □ USBケーブル[約3m]
- □ 専用タッチペン※(2本)
- □ サポートソフトDVD
- □ 壁取付用金具(2枚)



- □ ホワイトボード取付用金具(2枚)



- □ チェーンバックル(2本)
- □ プラスチッククランプ(2個)
- □ 専用両面テープ(2枚)
- ☑ 取扱説明書(本書)

※ 専用タッチペンの反射材(銀色)はタッチ操作に必要です。反射材を隠さないでください。
※ 専用タッチペンを追加購入したい場合は、「DA-TOUCH/PEN1」「DA-TOUCH/PEN2」をご購入ください。
※ 壁に取り付ける場合、ネジを別途ご用意いただく必要があります(12ページ)。

動作環境

●対象投影サイズ

横幅	930 ～ 1780mm (42-80インチTV相当)

●本製品を固定する場所

- 磁石が付くホワイトボード
- 平らな壁

● **対応OS**

Windows 10※
Windows 8.1
Windows 8
Windows 7

※詳細は弊社Webページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/product/lcd/option/da-touch-p/spec.htm#spectop

● **使用する場所**

・直射日光など強い光が当たる場所で使用しないでください。タッチ機能が誤動作するおそれがあります。
・設置する場所の下などに光を反射するものを置かないでください。タッチ機能が誤動作するおそれがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

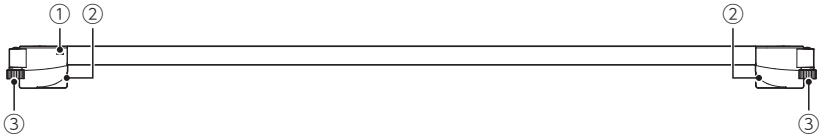
VCCI-B

仕様

外形寸法 (WxDxH)	1093 ～ 1943mm x 39mm x 57mm
質量	約980g
タッチ方式	光学式
タッチ入力方法	専用タッチペン
タッチ精度	95 ～ 120cm：±5mm 120 ～ 175cm：±10mm
タッチ範囲	90%以上
タッチ反応速度	10ms
使用温度条件	0℃～ 40℃
使用湿度条件	20 ～ 80% (結露無きこと)
電源	USBバスパワー (DC5V/500mA)

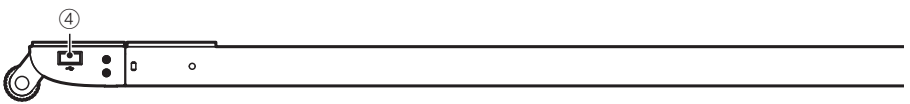
各部の名称・機能

前面



① 電源ランプ　電源が入ると、点灯します。
② センサー　タッチペンの位置・動きを認識します。
③ 固定用ネジ　添付のプラスチッククランプ、チェーンバックルを取り付けます。

天面



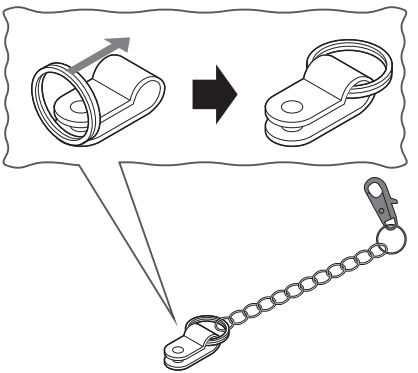
④ USBポート　添付のUSBケーブルでパソコンとつなぎます。

設置する

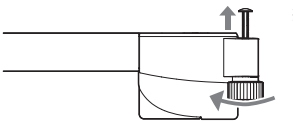
本製品にチェーンバックルを取り付ける

落下を防止するためのチェーンバックルを、本製品に取り付けます。

1 **プラスチッククランプとチェーンバックルを組み合わせる** ※ 2セット組み合わせます。

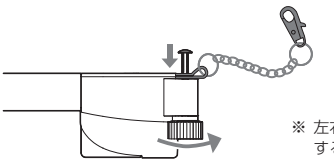


2 **固定用ネジをゆるめて、抜く**（反時計回りに回す）



※ 左右とも抜く

3 **プラスチッククランプを固定用ネジで固定する**



※ 左右とも固定する

次に本製品を固定します。

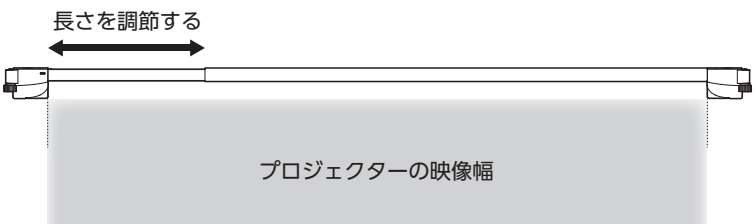
ホワイトボード……7ページ
壁……10ページ

本製品をホワイトボードに固定する

※ 壁に固定する場合は、10ページをご覧ください。

回転するホワイトボードに固定する場合
ホワイトボードの固定ネジをしっかり締めるなど、ホワイトボードが回転しないようにしてください。

1 投影する映像の幅に合わせて、本製品を伸ばす

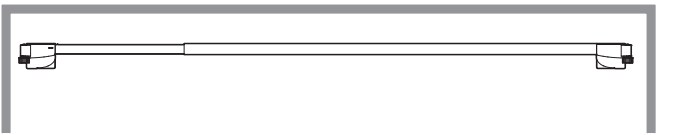


バーの境界部分(伸び縮みする部分)に触れない
指などをはさみ、けがの原因になります。



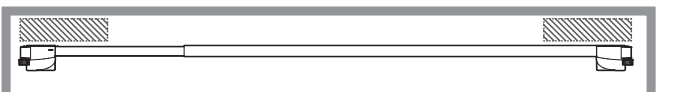
2 本製品をホワイトボードに固定する

本製品背面のマグネットを使い、ホワイトボードへ水平に貼り付けます。
貼り付けた後、本製品がかんたんに動かないことを確認してください。



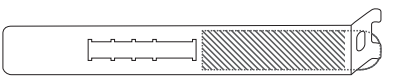
3 ホワイトボードのホコリ・汚れ・水分・油分を拭き取る

以下の図の位置を拭き取ります。拭き取れない場合は、アルコールで拭いてください。



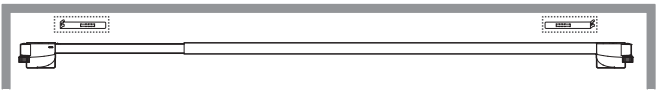
4 ホワイトボード取付用金具の裏面に、専用両面テープを貼り付ける

※ 2枚の取付用金具に貼り付けます。

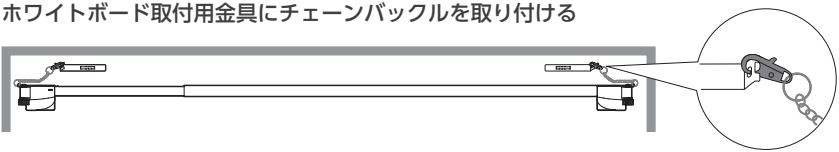


裏側に貼る

5 **ホワイトボード取付用金具をホワイトボードに貼り付け、30 秒ほど強く押さえる。**



6 **ホワイトボード取付用金具にチェーンバックルを取り付ける**



次に、【プロジェクターの映像を調整する】(14ページ) をご覧ください。

本製品を使う前に、固定具合をご確認ください

専用両面テープが劣化してきている場合は、丸いタブを引っ張って剥がし、取り替えてください。

別の場所に取り付ける場合

専用両面テープの丸いタブを引っ張って剥がし、取り替えてください。

専用両面テープを取り替える場合

推奨の両面テープは、本製品の Web ページでご案内しています。

http://www.iodata.jp/product/lcd/option/da-touch-p/

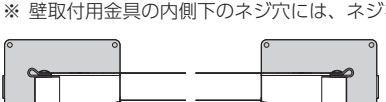
本製品を壁に固定する

※ ホワイトボードに固定する場合は、7ページをご覧ください。

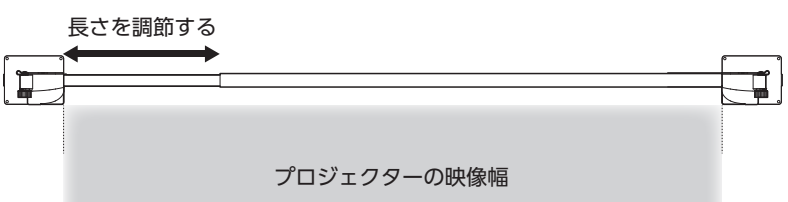
1 本製品に壁取付用金具を付ける

壁取付用金具の内側下に合うようにすると、きれいに設置できます。

※ 壁取付用金具の内側下のネジ穴には、ネジを取り付けません。

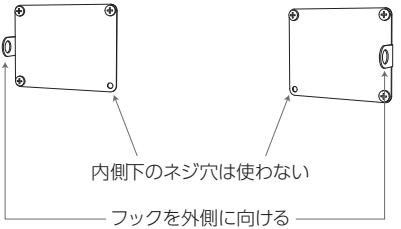


2 投影する映像の幅に合わせて、本製品を伸ばす

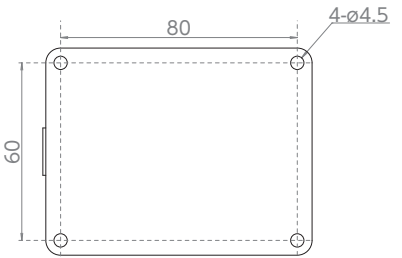


バーの境界部分（伸び縮みする部分）に触れない
指などをはさみ、けがの原因になります。

3 壁取付用金具を、左右水平に壁へ取り付ける



■ 壁取付用金具の寸法



「M4 ネジ(6本)」をご用意ください

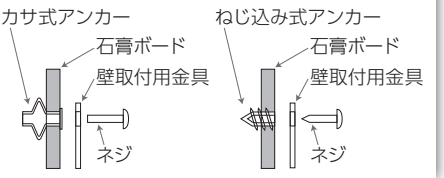
※ 取り付け場所に合った、ネジの種類や長さをご用意ください。

取り付けの際は

- 壁内の構造体（間柱など）を探して、そこに壁取付用金具を固定してください。
- 構造体が見つからないなどで、石膏ボードに直接固定する場合は、石膏ボードの厚みに合ったボードアンカーをお使いください。

※ ボードアンカーの固定には、必ず専用工具をお使いください。

※ インパクトドライバーは使わないでください。



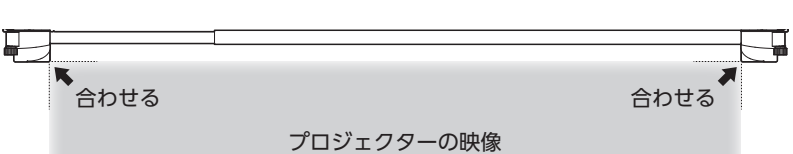
4 壁取付用金具にチェーンバックルを取り付ける



プロジェクターの映像を調整する

1 プロジェクターの映像の位置とサイズを調整する

本製品のセンサーが付いているボックスの角に合うように、映像の位置とサイズを調整します。



プロジェクターの台形補正機能をお使いください

プロジェクターによっては、台形になっている映像を長方形に補正する機能があります。
この機能がある場合は、タッチ精度を上げるために台形補正機能を使用してください。

キャリブレーションソフトウェアをインストールする（初回だけ必要です）

本製品を使うには、設置状況に合わせたキャリブレーション（調整）が必要です。
キャリブレーションソフトウェアをインストールします。

1 **サポートソフトを弊社Webサイトからダウンロードする**
https://www.iodata.jp/p/161073
※ インターネット環境がない場合、添付のDVDもお使いいただけます。
（なるべく最新版をダウンロードしてお使いください）

> Windows 10（Sモード）の場合
> Microsoft Store から「TouchMaker（てれたっち用）」をインストールします。（手順2の操作は不要です）
> 「TouchMaker（てれたっち用）」はスタートメニューに追加されます。

2 **サポートソフト内の[CalibrationSetup_vx.xx] をダブルクリック**
※ xxxには英数字（バージョン）が入ります。
⇒ 後は、画面の指示に従って、インストールを進めてください。
デスクトップ上に[TouchMaker] と[Switch tool] のアイコンが表示されます。また、「デバイスを接続してください」と表示されたら、17ページの手順2に進みます。

Switch tool

アプリケーションによっては、タッチ操作が正しく動作しない場合があります。その場合は、Switch tool でマウス互換モードに切り換えてお使いください。
※ Windows 10（S モード）は非対応です。

インストールの際の留意事項

インストールの途中で「Visual C ++ 2008 Redistributable」のインストールが始まる場合があります。

キャリブレーションする

1 **デスクトップ上にある［TouchMaker］をダブルクリック**
⇒ 調整用ソフトウェアが起動します。

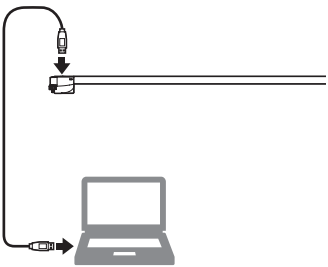


Windows 10 (S モード) の場合

スタートメニューにある［TouchMaker（てれたっち用)］を起動します。



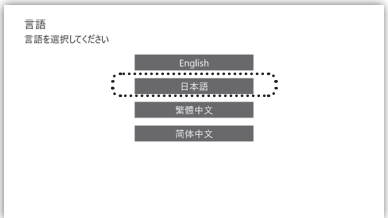
2 本製品とパソコンをUSBケーブルで
つなぐ



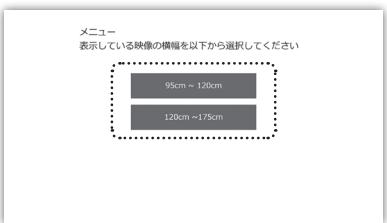
3 パソコンとプロジェクターをつなぐ

※ マルチディスプレイでお使いの場合、一時的に「プロジェクター」をメイン画面にする必要があります。

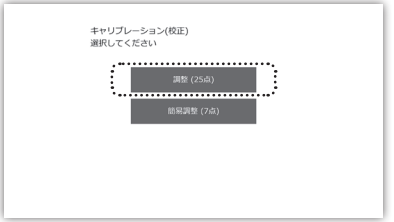
4 [日本語] を選ぶ



5 プロジェクターの映像投影サイズを選ぶ



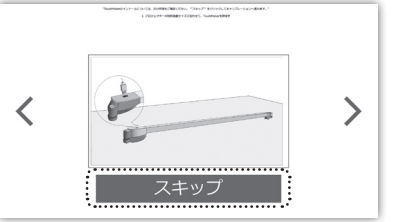
6 [調整(25点)] をクリック



[簡易調整(7点)] について

[調整（25 点)] が 25 点をタッチするのに対し、7 点のタッチでキャリブレーションが完了します。
タッチ数が少なくなるため、キャリブレーションの精度は下がります。

7 [スキップ] をクリック

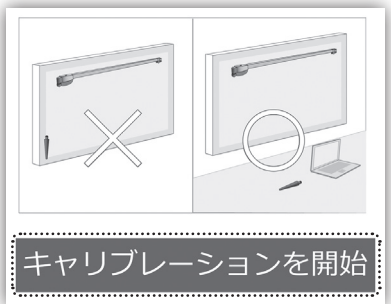


キャリブレーションを開始する前に

もう 1 本のタッチペンなど、光を反射するものが本製品の近くにないことをご確認ください。

8 [キャリブレーションを開始] をクリック

⇒ キャリブレーションが開始されます。
次の手順からは、タッチペンを使って操作してください。

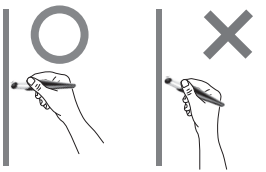


タッチペンの先を拭いてください

タッチペンの先にインクやホコリなどが付着していると、ホワイトボードや壁に汚れや傷をつけるおそれがあります。

タッチペンの持ち方

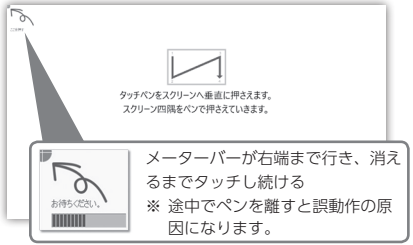
画面に対して垂直になるように持ってください。



プロジェクターの映像にタッチできない

【タッチ操作が別のディスプレイに反映される】(26 ページ) 参照

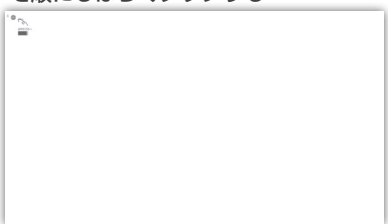
9 画面四隅のマークを順にしばらくタッチする



メーターバーが右端まで行き、消えるまでタッチし続ける

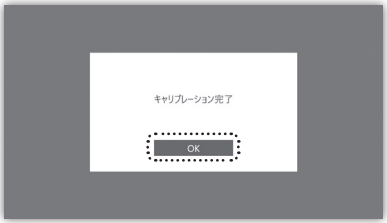
※ 途中でペンを離すと誤動作の原因になります。

10 同様に、画面25か所に表示されるマークを順にしばらくタッチする



11 [OK] をタッチする

⇒ これでキャリブレーションは完了です。



以下の場合、もう一度キャリブレーションをしてください

下のいずれかの位置が変わった場合

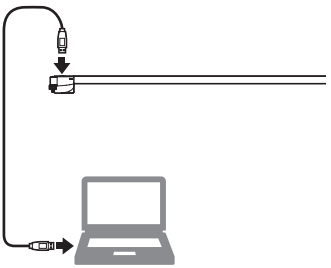
- プロジェクター
- 本製品
- 本製品の固定面

※ パソコンを変えるごとにキャリブレーションの操作をする必要はありません。

使う

本製品を使って、タッチ操作をします。

1 本製品とパソコンをUSBケーブルでつなぐ



2 パソコンと「プロジェクター」をつなぐ

3 タッチペンを使って操作する

以下の場合、もう一度キャリブレーションをしてください

下のいずれかの位置が変わった場合

- プロジェクター
- 本製品
- 本製品の固定面

プロジェクターの映像にタッチできない

【タッチ操作が別のディスプレイに反映される】（26 ページ）参照

ペン操作のコツ

- 画面に対して垂直になるように持つ
- 一筆ごとに、画面から 1 センチほど離す

うまくタッチできない

【タッチの位置がずれてしまう】（26 ページ）参照

「白板ソフトプロ for てれたっち」

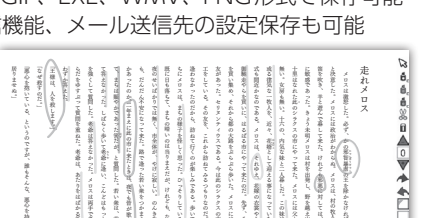
電子黒板アプリ「白板ソフトプロ for てれたっち」添付モデルの場合、「白板ソフトプロ for てれたっち」をダウンロードすることができます。

「白板ソフトプロ for てれたっち」とは

「白板ソフトプロ for てれたっち」は、手書きで自由な発想と表現を行うソフトウェアです。

【特長】

- 手書きに適したシンプルなツールボタン
- 64色のペンやマーカー、作図ペン、バケツを使用可能
- JPEG、BMP、アニメGIF、EXE、WMV、PNG形式で保存可能
- 印刷機能、メール送信機能、メール送信先の設定保存も可能



「白板ソフトプロ for てれたっち」画面イメージ

ダウンロード方法

1 弊社IOPortal にログインする
https://ioportal.iodata.jp/

※ はじめてご利用の方は「会員登録」をお願いいたします。

2 [製品を登録する] をクリックし、本製品のシリアル番号を入力する
※ 本製品のシリアル番号は、本製品に貼付のシールに「S/N」として記載されています。

3 「登録製品の一覧」を開く

4 本製品の「ソフトウェア」欄にある [ダウンロード] をクリック

5 画面の指示に従って、「白板ソフトプロ for てれたっち」をダウンロードする

使い方

「白板ソフトプロ for てれたっち」を起動したら、[Esc] キーを押します。
下の画面が表示されたら、[ヘルプ] をクリックしてヘルプをご覧ください。



お問い合わせ先

「白板ソフトプロ for てれたっち」は株式会社マイクロブレインのソフトウェアです。
お問い合わせは、下のメールアドレスへお願いいたします。

wb@mbrain.com

困ったときには

本製品をお使いの際に困ったらご覧ください。

本製品がまったく動かない

本製品とパソコンがUSBケーブルできちんとつながっているかご確認ください。
その上で電源ランプが点灯していない場合は、USBケーブルか本製品の故障が考えられます。
電源ランプが点灯している場合は、次ページの【正しく認識されているか確認する】をご確認ください。

タッチ操作が別のディスプレイに反映される

下の操作をお試しください。
①「コントロールパネル」を開く
②［ハードウェアとサウンド］をクリック
③［Tablet PC設定(タブレットPC 設定)］をクリック
④［セットアップ］をクリックし、画面の指示に従う
⑤「ディスプレイ」でプロジェクターを選ぶ
⑥［OK］をクリック
⑦キャリブレーションする 【キャリブレーションする】(16ページ)

タッチの位置がずれてしまう

- 本製品のセンサーが認識する場所に、光を反射するものがないか確認してください。
  光を反射するものがあると、タッチペンと誤認識するおそれがあります。
- プロジェクター、本製品、本製品の固定面の位置がずれてしまったことが考えられます。設置しなおしてください。(6ページ)
  その後、キャリブレーションしてください。(16ページ)
- Windowsのキャリブレーション情報が残っていることが考えられます。
  ①「コントロールパネル」を開く
  ②［ハードウェアとサウンド］をクリック
  ③［Tablet PC設定(タブレットPC 設定)］をクリック
  ④［リセット］をクリック
  ⑤［OK］をクリック
  ⑥キャリブレーションする 【キャリブレーションする】(16ページ)

お使いのアプリケーションが正しく動かない

デスクトップにある[Switch tool] アイコンをダブルクリックし、モードをマウス互換モードに切り換えてお使いください。

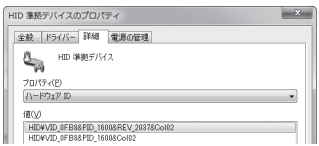
専用タッチペンを追加購入したい

「DA-TOUCH/PEN1」「DA-TOUCH/PEN2」をご購入ください。

その他のサポート情報はQ&Aをご覧ください

正しく認識されているか確認する

① デバイスマネージャーを開く
Windows 10：画面左下のスタートボタンを右クリックし、［デバイスマネージャー］をクリック
Windows 8/7：デスクトップで Windows キー＋ E を押す。表示された［コンピュータ］を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。次の画面で［デバイスマネージャ］を選びます。
② ［ヒューマンインターフェイスデバイス］を開く
③ Windows 10/8：[HID 準拠タッチスクリーン] または [HID 準拠ベンダー定義デバイス] をダブルクリック
Windows 7：［HID 準拠］をダブルクリック
※ 複数ある場合は、順に以下の手順をする
④ [詳細]タブ→[プロパティ]で[ハードウェア ID]を選ぶ
⑤「値」に「VID_0FB8&PID_1600」があれば、本製品が認識されています。



安全にお使いいただくために

ここに示した注意記号は、この電気製品を安全に正しくお使いいただき、ご自身や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
注意事項を区分して明示していますので、お使いの際には必ずお守りください。

⚠ 警告	この表示に従わずに、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示に従わずに、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示に従わずに、誤った取扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

記号の説明

⚠ 記号は、「⚠ 注意」（「⚠ 警告」を含む）を促す内容があることをお知らせするものです。

⃠ 記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。

❗ 記号は、行為を強制したり指示することをお知らせするものです。

設置前の注意

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本製品や USB ケーブルに触れない
感電の原因になります。

修理、分解、改造しない
破裂、やけど、動作不良の原因になります。

本製品の小さな部品（固定用ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

本製品を持ち運ぶ前に、本製品が伸び縮みしないように固定されていることを確認する
本製品が伸び縮みして、けがや破損の原因になります。

注意

センサー部分に触れない
センサーが汚れ、タッチの精度に悪影響を及ぼすおそれがあります。

設置時の注意

⚠ 警告

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、やけどの原因になります。

本製品がしっかりと固定されているか確認する
本製品が落下し、重症を負う原因になります。

⚠ 注意

本製品の長さを調整する際、バーの境界部分に触れない
指などを挟むけがの原因になります。

使用時の注意

⚠ 警告

本製品を使う前後にしっかりと固定されているか確認する
本製品が落下し、重症を負う原因になります。
また、本製品がぐらついていると、タッチ精度が悪くなります。

本製品を使用中に本製品を動かさない
本製品が落下し、重症を負う原因になります。
また、タッチ精度が悪くなったり、故障したりする原因になります。

本製品を取り付けたまま、ホワイトボードなどを動かさない
本製品が落下し、重症を負う原因になります。
また、タッチ精度が悪くなったり、故障したりする原因になります。

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから５年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、５年以前に各対応を終了する場合があります。

個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシーに基づき、適切な管理と運用をおこないます。

https://www.iodata.jp/privacy.htm

修理について詳しくは以下をご確認ください

https://www.iodata.jp/support/after/

お問い合わせ

お問い合わせいただく前に、以下をご確認ください

- 本書の【困ったときには】を参照
- 弊社 Web ページで Q&A を確認

https://www.iodata.jp/p/161073

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電 話：050-3116-3019
9:00～17:00　月～日曜日
（年末年始･夏期休業期間をのぞく）

メール：

https://www.iodata.jp/support/after/esupp.htm

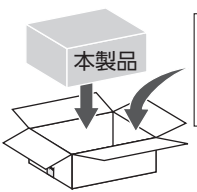
＜ご用意いただく情報＞
製品情報（製品名、シリアル番号など）、
パソコンや接続機器の情報（型番、OS など）

保証期間
1年間

修理

商品が破損しないように注意してお送りください

本商品の運送は、大型家具・家電扱いになる場合があります。
運送業者やお住いの地域によって運送可否が異なりますので、
お送りいただく際には、事前にお近くの運送業者にご相談ください。



レシート、納品書
など購入日を示すもの
または保証書

＋

メモ
・名前 ・住所 ・TEL/FAX番号
・メールアドレス ・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

https://www.iodata.jp/support/after/

【見積無料】
有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。
【シール】
お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【保証内容】
ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】
製品名とシリアル番号（S/N）はお手元に控えておいてください。
【修理について詳しくは】
左の URL をご覧ください（修理依頼書はここから印刷できます）。

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。) に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。) の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。) 等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より **1年間** 無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
2) 中古品でご購入された場合
3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。

2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

MEMO

MEMO

【ユーザー登録はこちら】https://ioportal.iodata.jp/
ユーザー登録にはシリアル番号(S/N) が必要となりますので、メモしておいてください。
シリアル番号(S/N) は本製品貼付のシールに印字されている12桁の英数字です。(例:ABC1234567ZX)

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのため、
アンケートにご協力ください。

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器

https://www.iodata.jp/